

â ¥ ò Õ å æ ù í ÿ ù ² °

8月19日(水)~21日(金)に、奈賀・田ノ上・間坂・宮地・美原地区の習俗や伝承について、聞き取り調査を行いました。70歳以上で、この地区で生まれ育った方、結婚してこの地区に住むようになった方など、のべ68人の方に参加していただきました。

昔羽村で栄えた養蚕の話、子どもの頃の遊びの話、昔の家の行事や食事の様子など、貴重な話をたくさん聞かせていただきました。

今回の調査を基に、各分野について、さらに詳しく聞き取りなどを行い、『羽村市史』にまとめていきます。今後、他の地区の聞き取り調査も行う予定です。

È L · · Å " Ò ä



昔は、美原の事を 原
って ったんだ。

/' - « 0 t v - · q
v Š - " Ò ' m Ø Ô :
' m f · · Û - š ~ f
¾ · ± · · â ø ' m Ø -
" Û © Ñ u

部会の手帖



各部会の活動の様子を紹介します。

用語の解説

ちゆうせいせきぞうくようとう
中世石造供養塔…鎌倉・南北朝・室町・戦国時代に自分や他人の功德・供養のために建てられた塔のこと。

たくほん
拓本…木・石などに刻まれた文字・模様を紙に当てて写し取ったもの。

れき
礫…砂よりも大きい（直径2mm以上の）岩石の破片。



第1部会 ～原始・古代・中世～

市内の中世石造供養塔（いたび板碑・ごりんとう五輪塔・ほうきよういんとう宝篋印塔）の調査を進めています。目標は市内全域の全点調査です！

過去の調査を基に、どこに何が何点残されているのかを確認しています。現存するものについては、写真撮影やスケッチ、拓本の採取を予定しています。

また、青梅市にある天寧寺・塩船観音寺で、中世の羽村に縁のある三田氏関係の資料の撮影・内容確認を行いました。



▲中世石造供養塔調査の様子

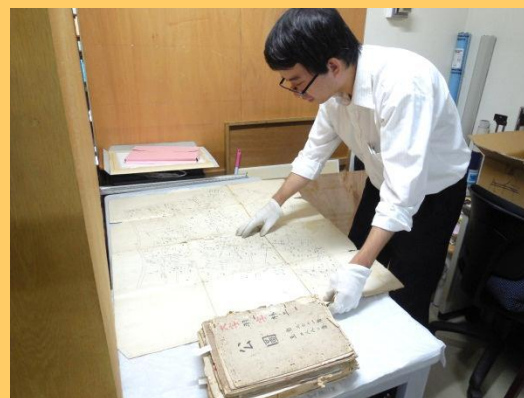


第2部会 ～近世～

撮影記録された羽村市に関する江戸時代を中心とした史料を閲覧し、『羽村市史』の執筆・掲載に活用できるものを検討しています。

それと並行して市外に保管されている史料のなかで羽村市に関連するものについて、検索・閲覧も引き続き行っています。

今後実施する予定の市内調査については、市内で保管されている新たな史料の発見を目標に、調査地・調査方法などを検討しています。



▲資料調査の様子

第3部会 ～近代・現代～

川崎地区にある個人所有の石蔵を調査しました。石蔵に所蔵されていた近現代の文字史料を中心に、今後確認作業と目録化を行います。

また、資料編「近現代写真図録編(仮)」の刊行に向けて、市の刊行物に掲載された写真の複写や、広報写真の整理を行っています。

そのほか、引き続き市役所の行政文書や新たに東京都公文書館資料の検索、過去に羽村市やその周辺地域で発行された民間資料の所在調査などを進めています。



▲川崎地区石蔵内資料調査の様子

第4部会 ～自然～

第4部会は地形・地質班、気候班、生態班に分かれて活動しています。

地形・地質班は、多摩川の河原で礫の調査を行い、礫の大きさ・種類・形状の特徴を記録しました。

気候班は、猛暑日であった8月2日(日)に市内全域で2度目の気象観測を行いました。

生態班は、生物に関するさまざまなデータを集めています。また、市内の樹木の年輪を調べるために、伐採された木から試料の採取を行いました。



▲樹木の試料採取の様子

第5部会 ～民俗～

8月19日(水)から21日(金)にかけて行った、第1回目の市内民俗調査(聞き取り調査)が無事に終了しました。

部会では当日を迎えるまでに、『羽村町史』や過去の調査資料から、改めて調査することが必要な事項を確認しました。

今回伺った昔の日常生活や年中行事、地域組織の成り立ちなどのお話と合わせて過去の調査資料などの情報を整理し、引き続き聞き取り調査を継続していきます。



▲聞き取り調査の様子(田ノ上会館)

市史編さんの足あと

※①～⑤は部会の数字です。(例) ① ⇒ 第1部会

月	日	できごと	月	日	できごと
7月	3日(金)	① 郷土博物館資料閲覧	8月	26日(水)	⑤ 個別聞き取り調査
	6日(月)	① 『羽村町史』執筆者との懇談		28日(金)	⑤ 個別聞き取り調査
	8日(水)	⑤ 郷土研究会会員との懇談、郷土博物館資料閲覧		31日(月)	③ 川崎地区石蔵内資料調査 ⑤ 個別聞き取り調査
	10日(金)	老人クラブ連合会への説明	9月	1日(火)	③ 川崎地区石蔵内資料調査
	15日(水)	羽村市史編さんだより 第2号発行		2日(水)	④ 伐採された樹木の年輪測定
	21日(火)	④ 多摩川河原での礫調査		3日(木)	⑤ 個別聞き取り調査
	28日(火)	③ 川崎地区石蔵内資料調査		10日(木)	⑤ 個別聞き取り調査
	29日(水)	⑤ 美原会館史料調査		14日(月)	① 中世石造供養塔調査
8月	2日(日)	④ 気温の移動観測・風向風速の観測		15日(火)	町内会長会への説明
	18日(火)	① 中世史料調査(青梅市寺院)		24日(木)	① 中世石造供養塔調査
	19日(水)	③ 郷土博物館収蔵資料確認	28日(月)	④ 気温観測データ(定点)の回収	
	19日(水)	⑤ 地域別聞き取り調査(奈賀・田ノ上・間坂・宮地・美原地区)	29日(火)	第3回羽村市史編さん委員会 ① 中世石造供養塔調査 ④ 多摩川河原での礫調査	
	24日(月)	① 中世石造供養塔調査			
	~26日(水)				

コラム

ちっとんべえ

第3回 “田舎の母”に想うこと

爽やかな風が気持ち良い季節です。そんな秋を感じる今日このごろ、「秋といえど？」と聞かれた時、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。私の場合、「食欲の秋！」と答えるでしょう。

そんな私が最近熱中している食べ物が“田舎の母”の味を想わせるお菓子です。このお菓子は、定期的に新しい味の商品を出していますが、そのほかに季節・地域に関係した商品も数多く出しており、その全容を把握することはなかなか容易ではありません。

このお菓子を食べながら感じるのは、時期や季節による変化はもちろん、全国的・地域的な変化にも富んでいるということ。そして、新たな変化を見せながらも、根幹にある「母を想わせるような懐かしい味」を守っているということです。

市史を考えていく上でも、時間経過による地域の変容を敏感に感じとること、広域的・狭域的な視点で事例を検討することが必要ではない

でしょうか。また、それと同時に、市民の皆さんに郷土羽村に対する愛着を深めてもらえるような市史にしていかなければ、と考えています。

これからも、羽村での時代・地域ごとの特徴を感じながら、『羽村市史』の調査を行っていきたいと思います。(S.Y記)



▲秋を感じる風景

※「ちっとんべえ」とは、羽村の昔ことばで「ちょっと、少しばかり」という意味です。